



**MORIOKA**  
ROTARY CLUB WEEKLY

第29回例会(2月21日)  
令和2年2月28日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10  
川徳デパート内  
例会場 同上 TEL 019 (651) 1111(代)  
例会日 毎週金曜日12時30分～  
<http://www.morioka-rc.jp/>

会長 西島光茂  
幹事 勝雅行  
会報 金沢 滋  
クラブ事務局 TEL 019 (653) 5682  
FAX 019 (653) 5622

RI会長テーマ ROTARY CONNECTS THE WORLD:ロータリーは世界をつなぐ...マーク・ダニエル・マローニー  
盛岡RC会長テーマ 令和元年:世の為、人の為、奉仕を続け、輪を繋げましょう-西島光茂



創立記念例会卓話

## 創立記念例会の思い出

パスト会長

白石 茂 君

本日は創立記念日に当たり入会時の思い出を記憶をたどりながらお話し致します。

私が入会したのは今から31年前の平成元年3月のことでした。スポンサー会員として自宅近所のかみはら皮膚科の上原伸一先生と、当時自宅を新築中のため杜陵小学校隣にあるマンションに仮住まいしていた時の大家さんであった木津屋食品の池野亮一さんでした。

入会前に当時ロータリー情報委員長だったか会員拡大委員長であった澤野紀男先生がわざわざ私の会社までおいでになり、出席についてのお話と確かメイクアップのお話をされていた記憶があります。

入会当時のメイクアップは例会日前後7日間ずつで当日欠席をすると後処理が大変なので出来るだけ前メイクアップをするよう心がけていました。

その頃盛岡北クラブの例会場がカワトクの「ダイヤモンドホール」で、うちのクラブと同じ会場で水曜日の例会に良く出席したものでした。今の会場は「ロイヤルホール」ですが、ダイヤモンドホールは結構広い会場で丸テーブルの数も会員数が111人だったので十数卓有ったかと思います。

そのメイクアップ方法ですが、前後7日間が今の前後14日間となりそして新たに規定審議会で決定された一度のメイクアップが年度内一年間有効となったことは感慨深いものがあります。

亡くなられた鈴木貞雄先生の話では昔のロータリーは出席が厳しく、仕事の都合で自クラブの例会を欠席した時は花巻や一関のクラブに車で駆けつけてメイクアップをした話を良くファイアサイドミーティング等で聞かされたものでした。

入会時のクラブ会長は千葉隆史先生のお父さん



の千葉信先生でした。また幹事は盛田洋太郎さんでした。委員会の配属先は親睦委員会で3年ほど連続で親睦委員会に所属したおかげで受付係をしたりすることで会員の皆さんの顔と名前が一致するようになりました。余談ですが私の会長年度には千葉信先生のご子息である千葉隆史先生が入会されて不思議な縁を感じています。

入会当時盛岡クラブは創立50周年の時を迎えていました。その記念式典が開かれたのは平成元年4月22日のことでした。午後1時から盛岡グランドホテルにおいて111人の会員含めて約400名の参加者が半世紀の歩みを祝うと共に、一層の発展を誓いました。式典では千葉信会長が50年の歴史を紹介しながら「次の100年に向かい、地道な奉仕を重ねて行こう」と決意表明をされ、中村直岩手県知事のご挨拶や千厩町（現一関市）出身の慶応大学教授の加藤寛さんから記念講演を頂き、更に熊谷松男50周年記念実行委員長から記念事業として青少年国際教育支援資金を盛岡市へ寄託したことが報告されました。

卓話の為ビッグフライデーを眺めていたら「50年後へのメッセージ」というタイトルで岩手銀行専務の石井富士雄会員が次のようなことを書いていました。

「1986-87年頃、盛岡へ冬季オリンピック招致運動に関わっており、クラブを挙げてご支援を頂いておりましたが、残念ながら実現の運びには至らなかったわけですが、当クラブが創立100周年を迎えられる頃には、再びその様な機会が近づいてくることもあろうかと思えます。その時の会員の方々に今からメッセージをお送りしてよろしくお願ひ申し上げる次第です。」

と言うことで、後20年後の創立100周年まで私は会員でいられるかは分かりませんが、40代や50代の会員の皆さんにバトンタッチしたいと思います。

更に私自身のコメントも記載されており「記念すべき50周年の節目に、しかも平成元年に入会したことは忘れることがないでしょう」との一言コメントがありました。巻末の会員名簿を見ると、現在も会員でいる人の数は12名ほどで本当に驚きです。

次の創立70周年記念では平成21年（2009年）4

月4日（土）に県民会館中ホールと地下催事場で行われました。長野隆行クラブ会長、南部利昭大会会長、小川惇大会実行委員長のもと挙行されました。

記念イベントとして第1部では結城登美雄氏と歌手のあんべ光俊さんによる環境トーク&ライブが、第2部ではNHK盛岡放送局仲元局長のご尽力で朝枝信彦とN響メンバーによる弦楽四重奏の演奏が行われました。

中でも70周年記念の大会会長であった南部利昭地区パストガバナーが、靖国神社宮司という立場で昭和天皇崩御20周年の式典を終えた直後の1月7日に急逝され、創立70周年記念大会会長が空席のまま小川惇実行委員長が兼務のような形になったことは誠に残念なことでした。

創立80周年記念については昨年実行したばかりで、ほとんどの方が記憶に新しいところだと思います。創立50周年は入会直後の出来事でもただ言われるがままにお手伝いをしていたわけですが、70周年では総務委員長、80周年では実行委員長と大役を仰せつかり職責を果たすだけで精一杯だったと感じています。

創立記念関係以外では地区大会やガバナー事務所での思い出があります。

初めて地区大会に関わったのは南部利昭さんが第1回のガバナーに就任された時でした。ちょうど1995年（平成7年）から96年にかけて宮城と合併する前の頃で、入会6年目で確か総務関係の仕事をしていた記憶です。代表幹事は池野和夫さんで、クラブ会長はもとよりガバナーになってもおかしくないぐらいの方でした。1999年には地区内で誰もガバナーのなり手が無く、見かねた南部さんが手を上げて2回目のガバナーを務められました。ご本人曰く「リバイバル」ではなく「リサイクル」ガバナーとおっしゃっていました。この時の代表幹事は小川惇さんで、私は地区の国際奉仕委員長を務めたかと思えます。

次の我がクラブ輩出のガバナーは小川惇さんでした。代表幹事は吉田育弘さんで私のお役は地区総務委員長でした。この頃になって岩手と宮城の地区が世界で初めての地区合併となりました。確かに合併により人数が増えたことにより、ガバナー選出が幾らか容易になった面がありました。

マイナス面としてはあまり大きな声では言えませんが、合併前に宮城地区では外国の姉妹地区として韓国との交流が盛んに行われていました。合併に当たり南部さんはこの点を見直したらどうかとの発言があったようですが、某氏からの教育的指導？があり現在の関係になっています。

一昨年は田中堯史さんがガバナーに就任され吉江信博さんが代表幹事を務められました。私のお役は総務委員長で、創立80周年の実行委員長の二足のわらじを履いて務めました。この間ずっと総務関係の役をやらされてきたわけですが、元々私はこういう役が向いていないと思っていましたが、南部ガバナーの頃から亡くなった山口北州印刷の山口徳治郎さんにいろいろ仕事のやり方を教わりました。山口さんは本来はガバナーになる人ですが、表に出ることよりも黒子役に徹して仕事をする方でした。その山口さんにあれこれ教えられ、地区大会が近づくと戦場のようなガバナー事務所で文書作りや手作りの名札作りなど大変な思いをしてきました。

地区大会ではスケジュール管理が大事で、時間配分を研究するため宮城地区での大会にも参加し、詳しく時間を記録して自分たちのために参考にしてきました。その結果進行台本を作成しリハーサルなどを何度も行い、あまり遅れないようにすることが出来ました。本大会での時間の遅れは遠くから参加してくるクラブにとっては楽しみでもある懇親会の時間が少なくなるので特に注意をしました。

ここでロータリー情報委員でもあるので受け売りではありますが簡単にロータリーの概況とクラブ会長のための指針をお話します。

### ロータリーの概要

不況で荒れすさんだシカゴで、あたたかい人間関係を求めていた青年弁護士ポール・ハリスが3人の仲間と共に、最初の会合を持ったのが1905年2月23日でした。丁度今から115年前になります。この4人は互いの事務所で「輪番」に会合を開きました。当初の目的は親睦と相互扶助でした。この4人のグループの名称を「ロータリー」と、会員を「ロータリアン」と呼びました。新たなメンバーが加わり、正式にシカゴ・ロータリー・クラ

ブを組織しました。しかし、多忙な職業人が毎週集まるためには目的に職業奉仕と、恵まれない人々への援助も加えられました。

それが初期ロータリアンの努力の成果として、「超我の奉仕」と「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という標語にまとめられました。クラブ数が多くなるにつれて、ロータリー・クラブ全米連合会、ロータリー・クラブ国際連合体、そして国際ロータリーと発展してきました。国際ロータリーの第一の目的はロータリーの綱領を推進するために世界中のクラブを支援することです。ロータリーの奉仕を導く羅針盤として「ロータリーの綱領」が作られています。

奉仕はクラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕と国際奉仕に分離されます。クラブ奉仕は土台となり、親睦、例会、ロータリー情報や広報、会員増強などです。職業奉仕は「四つのテスト」を実行し、倫理向上に努めています。社会奉仕は地域のニーズに応じ、国際奉仕は国際理解と平和を求めたものです。ロータリー財団の使命は地域レベル、全国レベル、国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じてロータリーの綱領と使命を実行するものです。

国際ロータリーの立法機関としては3年毎に規定審議会が民主的に開催されます。その決定は「手続要覧」に記されます。日本では2016年8月末現在クラブ数は2,274、会員数はおよそ89,302人です。

### ロータリー・クラブ会長

国際ロータリー (Rotary International、以下 R I ) は、R I 定款および R I 細則に従って結成された現に存在するロータリー・クラブ (以下、クラブ) によって構成されています。クラブの理事会はクラブの管理主体です。クラブ会長は、クラブを代表すると同時にクラブ運営管理の責任があります。クラブ会長、各役員および各理事は、いずれも、本クラブの瑕疵なき会員でなければなりません。クラブ会長は、クラブ全体を指導する能力を持ち、かつ、会員の尊敬と信頼を有する者となっています。

そして、会長エレクト研修セミナー (P E T S ) と地区協議会 (地区協) に会長エレクトとして必ず出席し、かつ、いつでもクラブを指導し、クラ

ブの事務を執るのに必要な時間と労力を捧げ得る者となっています。また、任務に就く前の年度に、会長職の実習期間を通じて与えられた役割を務めたことがある者、自己のクラブの理事あるいは一つまたはいくつかの主要な委員会の委員もしくはクラブ幹事を務めたことがある者、1回以上地区大会に出席したことがある者、そして、自己のクラブの定款・細則に関して役立つ知識を有する者といった要件を備えていることとなっています。

なかでも、PETSと地区協への出席は会長就任の必須条件です。申すまでもなく、クラブの運営はクラブ会長のロータリーに対する識見と熱意によって左右されます。ポール・ハリスは次のように述べています。すなわち「世界は絶えず変化しています。そして私たちは世界と共に変化する心構えがなければなりません。ロータリー物語は何度も書き換えられなければならないでしょう。」と。

クラブ会長は、激動する社会の変化に応じた奉仕活動を行うために、地域社会、国際社会の動向を的確に把握し、ニーズを分析して、効果的な奉仕活動を実行するようクラブを指導することが望まれています。そのために、自己のクラブ効果的なクラブとするためには、四大奉仕部門を踏まえ、能率的なクラブ管理を基盤として、会員を維持し増加すること、成果のある奉仕プロジェクトを実施し、ロータリー財団への支援を行い、クラブ・レベルを超えたクラブ指導者の育成を心がけ、実行することが要請されています。

そんなこんなで入会以来節目の行事にはいろいろ関わってきたわけですが、そろそろ100周年記念行事を担う若い方々にお任せしたいと考えております。

以上思い出をご披露しましたので話を終えさせていただきます。

**例会報告**

**第29回例会  
令和2年2月21日(金)**

- 12時30分 開会点鐘  
 ・司会 西島光茂会長  
 ・ロータリーソング  
 (それこそロータリー)  
 ・会長報告 西島光茂会長  
 ・結婚祝 佐々木和俊君  
 ・幹事報告 勝 雅行幹事  
 ・委員会報告

**【ニコニコBOX】**

- ◆西島光茂君…①  
 前回の第3回アッセンブリーでは各委員長さんからの充実した、そ

して具体的な奉仕活動の報告をいただき、心から御礼申し上げます。

②  
 楽しみにしておりました、鹿角の旅行に参加できなくなりました。診療報酬改定説明会と重なってしまいました。鹿角は医師になって最初の冬の出張病院でした。残念です。

③  
 会長として創立記念例会を迎えることができ、光栄に思っております。あと5ヶ月、会の運営へのご協力を宜しくお願いします。

◆長野隆行君  
 白石パスト会長、創立記念例会での卓話、ありがとうございました。会長だったクラブ創立70周年記念についても触れていただき、予期せぬハプニングが多かった1年を

思い出しました。ありがとうございました。

◆樋山桂さん  
 本日は御用命いただきありがとうございます。会友として出席率が悪く申し訳ございません。1日も早く会員に復帰できる様、社業に専念いたします。

◆坂本広行君  
 会友の樋山くんへ ひと月でも早めに入ってください。再び入会してください。お願いします。

●メイクアップ  
 仙台青葉RC=橋本君  
 地区=田中君  
 クラブ委員会=駒木・佐藤(仁)・吉田(育)・佐々木(和)・上野君

**出席報告** | 会員数/77名 | 出席数/47名 | 出席率/65.27% | 前々回/71.23%



**プログラムのお知らせ**

- ・ 2月28日(金) 新入会員卓話 近藤一英会員「東北電力を取り巻く最近の状況」
- ・ 3月6日(金) 卓話
- 13日(金) 卓話
- 20日(金) 祝日休会
- 27日(金) 環境保全ポスター表彰式
- ・ 4月3日(金) 卓話

●本号編集担当/櫻下 信